



石橋春雄議員
(市民クラブ)

産業振興

問 本市の特産品「赤ピーマン」や「匠瑛の舞」への支援事業の現状と課題について伺う。

答 「産業振興課長」平成23年度、市商工会に「そうさブランド研究委員会」を設置し、赤ピーマンを使った商品開発を行っている。平成24年度にドレッシング、たれ、ソースを商品化平成25年度には販売を開始し、販路拡大に取り組んできた。販売開始から10年ほど経過しており、新たな商品開発の検討を含め、関係団体と協議していきたい。また、匠瑛の舞をはじめとした特産品のPRについても引き続き行っていきたい。

問 ふれあいパーク販売農家や優良農業経営者について、広報そっさ等で紹介してはどうか。

答 「秘書課長」農業を担う方々を紹介することは、さらなる経営、生産意欲の向上につながるものと考えている。また、農業にかける思い等を発信することにより、本市農業のPRにもつながると考えている。
広報そっさ等での掲載について、今後、

関係課と調整していきたい。

公共交通

問 デマンドタクシーについては、市の運営よりも民間での運営を考へてはどうか。また、民間タクシー会社はどこまで運営できるのか。

答 「市長」デマンド型交通は、複数の利用者が同じ時間帯に乗り合いで目的の乗降ポイントに向かう送迎サービスのことです。令和5年4月1日から導入予定である。運営は、市内の地理や道路等に精通している市内タクシー事業者や車両運行やオペレーター業務を委託予定である。

市民病院

問 市民病院建て替えについて、計画では5年かかるとのことである。市民の命を守る病院の建て替えは、緊急の課題であると考えている。市長の見解を伺う。

答 「市長」市民病院の建て替えに取り組むことを市民に公約し、6つのまちづくりビジョン、7つの重点施策のいずれにも掲げ、最優先で取り組むものである。

市民病院の建て替えは、多くの市民が望んでいるものと認識している。また、施設の老朽化が進む中、まさに喫緊の課題であると認識している。



田村明美議員
(日本共産党)

市民病院

問 市民病院の建て替えと充実を求め766筆の署名が、市長に提出された。新病院の建設場所、病院構想を伺う。

答 「市長」建設候補地は、病院事業運営委員会が八日市場駅南側とする方向性が示され、熟慮した上で八日市場駅南側に絞り込んだものである。引き続き、意見を伺ってみたい。

答 「病院事務局長」病床数は80床とし、できる限り個室化をめざしたい。診療科目は現在の科目を継続する。健診は、健診者専用待合室を設置し、患者と動線を別にしたいと考えている。

問 人間ドックの検査項目の充実に求められているが。

答 「病院事務局長」当院の人間ドックでは、大腸検査は、便潜血検査で陽性の場合、診療で大腸内視鏡検査を行っている。脳ドックは、MRI検査は可能だが、専門医不在のため実施が困難な状況である。引き続き、実施方針を検討していきたい。

問 今後の医師数、看護体制は。
「病院事業管理者」常勤医師は12月現在11名（内科5名、外科5名、

整形外科1名）で、4月からさらに内科医が1名増の予定。看護師確保は大変厳しい状況にあるが、中途採用者の確保で補っている。新卒者確保に向け、市内近隣の各高校や医療系学部のある大学を訪問し、奨学生募集を行っている。

問 要望署名にもあるが、産婦人科、小児科の再開が求められている。

答 「市長」産婦人科、小児科は全国的な医師不足で、大変厳しいと認識しているが、医師確保は望むところであり、引き続き病院等と協議し進めていきたい。

公共施設

問 市の公共施設は、長寿命化対策とともにバリアフリー化改修も必要と考える。方針と計画を伺う。

答 「市長」本年度改定を進めている「市公共施設等総合管理計画（素案）」において、改修予定の施設の段階解消、多機能トイレの設置など、ユニバーサルデザイン化の推進方針を定める予定である。

問 エレベーターがない施設にエレベーターの設置を求めたい。

答 「財政課長」6つの施設にエレベーターとスロープがない。昇降機の設置については、近隣市町の状況等を調査研究していきたい。